

20230921 音楽の力を信じて 指揮者 柳澤寿男の挑戦

紛争の傷跡が残る旧ユーゴスラビア・コソボの地で、一人の日本人指揮者が活動しています。

柳澤寿男、52歳。

彼は、バルカンの民族共栄を願い、対立する民族が属する楽団を結成しました。

「音楽には対立を超える力がある」

その信念の実現のために、今日も彼はタクト（指揮棒）を振り続けています。



コソボは、第二次世界大戦後、ユーゴスラビア連邦を構成するセルビア共和国の自治州となりました。ですが、住民の九割を占めるアルバニア人の多くは、長年、セルビアからの独立を訴え続けてきました。その背景として、セルビアとアルバニアでは言語も宗教もちがうことなどがあります。また、コソボでは少数派のセルビア人が政治の主要ポストを独占し続け、政治的にセルビア人がアルバニア人を支配する状態であったことも二つの民族を対立に向かわせた原因といわれています。1990年、アルバニア系住民とそれを支援するコソボ解放軍が独立を求めて武力闘争に突入。これに対し、セルビア側が掃討作戦を開始し、内戦が本格化します。セルビアはコソボからアルバニア人を追い出す作戦を展開し、アルバニア人数十万人が難民となりました。逃げたアルバニア人の多くは国境を越えられず、水も食べ物もトイレもない中で、亡くなったり行方不明になったりしました。2008年、コソボ議会は「コソボ共和国」の独立を宣言しました。

2009年11月、東京でバルカン室内管弦楽団の来日公演が行われました。アルバニア人、マケドニア人、セルビア人から構成された民族混成の楽団です。対立し、銃を向け合った民族が一つの楽団に所属し、見事なハーモニーを奏でるといふ奇跡なような一夜を実現したのは、

日本人指揮者で同楽団の音楽監督を務める柳澤寿男さんです。

柳澤さんがコソボを初めて訪ねたのは紛争が終わって8年近くたった、2006年の12月でした。紛争は終結したとはいえ、コソボは自力で平和を維持することができず、国連軍のお世話になっていました。しかし、その国連の敷地



に手榴弾が投げ込まれるなど、まだまだ危険な状態でした。コソボには生き残った13人の音楽家によるコソボフィルという楽団がありました。コソボに着くや、柳澤さんはその場で客演指揮を依頼されます。演奏会の日は、2007年3月25日、ヨーロッパ統合の礎となった「ローマ条約」50周年にあたる日でした。

演奏会の1週間前、再びコソボを訪れた柳澤さんに、ある楽団員がこう言いました。

「柳澤さんには悪いけれど、今もし紛争が再開したら、ぼくは楽器を銃に持ち替えて紛争に行くよ・・・」と。彼は、この紛争で身内を2人も亡くしていたのです。

演奏会の曲目は、ベートーベンの交響曲第7番でした。本当に素晴らしい演奏会でした。この演奏会の後、紛争に行くといった楽団員が涙ながらにこう訴えてきたといいます。

「この前は悪かった。音楽家はあんなことを言っ
てはいけない。音楽に国境があってはいけ
ない。」と。

この演奏会をきっかけに、柳澤さんはコソボでの活動を本格的に開始します。コソボフィルの演奏家たちは、「みんなトシオが好きだ」「ずっと一緒に働きたい」と言います。

2007年、柳澤さんはバルカン室内管弦楽団を立ち上げました。はじめはマケドニア人だけ、翌年はマケドニア人とアルバニア人、3年目の2009年はセルビア人も加わりました。しかし、アルバニア人とセルビア人が一緒に仕事をするのはとても困難なことでした。

柳澤さんは、演奏会の場所をコソボ北部のミトロビツアに決めました。ここは、セルビア人とアルバニア人が激しく衝突を繰り返したところです。ミトロビツアには川が流れていて、川の南にアルバニア人、北にセルビア人が住んでいます。この川に架かる橋は「分断の橋」と言われ、地元の人には二十年近くこの橋を渡っていないという状況でした。柳澤さんはこの街の川の北と南でそれぞれコンサートを開こうと考えました。3つの民族混成のオーケストラ演奏



2007.3.25のコンサート

会は北でも南でも大成功でした。演奏会の後、簡単な打ち上げを終え橋のたもとまで来ると、アルバニア人とセルビア人が笑顔で握手をしてメールアドレスの交換をしていました。練習を始めた当初は挨拶すら交わさなかった両者が、音楽を通して心を通じ合わせたのでした。セルビア人たちは橋を渡って北へ、アルバニア人たちは南に向かって帰っていきます。「我々くらいは、この橋を『分断の橋』でなく『再開の橋』と呼びたいね」と話しながら。

音楽に言葉はいらない、相手の出した音に合わせていく、すると、自然と心も合っていく。心が一つになった演奏には聴く人に大きく訴えかける力があります。分断から統合へ、音楽の力を信じて柳澤さんはタクトを振り続けています。

バルカン室内管弦楽団は、今年の秋、4年ぶりにフルメンバーで来日します。



11月28日に【石井竜也 with バルカン室内管弦楽団スペシャルコンサート「DREAM OF FUTURE」】が予定されていますが、そのリハーサル練習を本校体育館で行うこととなりました。（非公開）